

好いとあ!

福津

Readers Voice
読者の広場

読者の声を中心に、みんなと広報・マーケティング係で作る交流コーナーです。広報ふくつの感想はもちろん、市政へのご意見、ふるさと福津市への思いや日々の生活のこと、市内の出来事のリポートなどを掲載していければと考えています。皆さんの声をお寄せください。

広報8月号の感想

下水道への理解が深まった



下水道に関して理解が深まり、今後も大事にしていきたいと思いました。

質問ですが、食器用や排水管などを掃除するための洗剤は下水道に影響はないのでしょうか。(スパイダーさん／西福岡／36歳)

洗剤は、使用方法や適量を守って、正しくお使いいただければ、影響はないと考えています。なお、海や川などの自然環境の保全のため、できるだけ無リンのものを使用してください。

下水道は汚水の処理を通じて

て、私たちの生活を守る役割を担っています。今後とも、下水道の適切な利用にご協力をお願いします。

下水道を大切にしていきたい

下水道を大切にしていきたい

私

私たちの生活が下水道の健全と密接に関わっていることを改めて認識させられました。今後、汚水の流し方にも気を配る必要があると思います。(M・Sさん／若木台／73歳)

地下にあるため、日頃目にするのではない下水道ですが、私たちの暮らしを支える大切な生活基盤です。

下水道に異物が流されることによって、下水道施設が故

障することがあります。M・Sさんが感じていただいたように、皆さんのご家庭の排水設備も市の下水道施設も、快適に長く使い続けるためには、下水道へ流してよいものと、流してはいけないものの区別を正しく守っていただくことが大切です。

ほしい情報を

手に入れることができました

8

月号の下水道の特集は良かったと思います。廃油の処理に困っていると知人から聞いたことがあったので、知りたい情報を手に入れることができました。(クウちゃんさん／若木台／63歳)

下水道を守るために、下水



▲マスクなどを配る原町一区福祉会の会員さん(右)

街角カメラリポート

このコーナーでは読者の皆さんから寄せられた、市内の出来事や旬の話題を写真とともにお届けします。

今年で結成10年を迎える原町一区福祉会はスタッフを含め約70人の会員で活動しています。高齢になると外出しにくくても手段がなく、不安やストレスを感じたり、家に閉じこもりがちになったりする人がいます。原町一区福祉会では、高齢になっても住み慣れた地域で安心して暮らしているように、高齢者世帯への訪問や誕生会などの活動を行っています。しかし、今年

の感染予防のため、イベントを休止せざるを得なくなりました。そのような中「自分たちができることはないか」と考え、悩み相談の家庭訪問の日に民生委員と一緒に、地域の高齢者の皆さんにマスクと消毒液を配布することにしました。訪問は2人ずつ6班に分かれて実施しました。訪問を受けた人からは福祉会にお礼の電話が寄せられ「このような状況でも福祉会としてできることがある」とスタッフの皆さんもやりがいを感じたそうです。

「高齢化社会の中、地域の皆さんにどのようにしたら喜んでもらえるのかを考え、困っている人に心から寄り添えるような福祉活動に努めたい」と会長の野上義之さんは語ります。今回のようなコロナ禍の中でも、住みよい地域づくりのためにできることに原町一区福祉会の皆さんは一生懸命、取り組んでいます。(うめさくさん／中央)

男女がともに歩むまち

性別に関わらず、一人一人が輝ける社会を目指す福津市。このコーナーでは、市や市民の「男女がともに歩む」取り組みを紹介します。



▲女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク

性犯罪・性暴力に遭ったら一人で悩まず相談を

性犯罪・性暴力は、被害者の尊厳を踏みにじる人権侵害であり、長期にわたり心身に深刻な影響を及ぼします。また、年齢や性別にかかわらず、身近な人間関係や夫婦・恋人の間でも起こりうる事象です。性犯罪・性暴力に対する被害直後の総合的な支援機関として、各都道府県には「性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター」(以下、センター)があります。性犯罪・性暴力の被害を受けた直後には、緊急避妊や妊

娠の検査などが必要な場合があります。センターでは被害に遭った人が安心して受診することができるよう、医療機関と連携しています。また、一人での受診が不安な場合は、センターの女性支援員が付き添うこともできます。被害に遭った人の心身には過度の負担が生じるため、センターでは、女性支援員による面接相談や、女性の臨床心理士によるカウンセリングを受けることができます。また、センターでは女性に限らず男性やLGBT[※]に対する性暴力・性被害の相談支援も行っています。本人が望まない性的な行為

は、全て性暴力に当たります。もし性犯罪・性暴力の被害に遭った場合には、一人で悩まず「性暴力被害者支援センター」ふくおか(☎092・409・8100、24時間365日受付)にご連絡ください。相談者の不安に寄り添った支援を受けることができます。市では、あらゆる暴力の根絶に向けた環境づくりの推進に取り組んでおり、広報紙やホームページを活用した啓発活動を行っています。この活動についてご理解とご協力をお願いします。問い合わせ 市男女共同参画推進室 ☎43・8116

「好いとあ!福津」は皆さんと一緒に作るページです。広報紙の感想などがあれば21ページの市まちづくり推進室宛てのがきやメールなどで受け付けています。街角カメラリポートは、記事を写真と一緒に市まちづくり推進室宛てに郵送またはメールで投稿

お便り・投稿大募集



してください。投稿記事は500文字程度で作成し、写真は郵送の場合は印刷したものを、メールの場合は2MB以上のJPEGデータを送付してください。ただし、送信データが10MBを超えると受信できないことがありますのでご注意ください。お送りいただいた内容は、紙面の都合で加筆、修正、短

縮する場合があります。また、応募多数の場合は選考しますので、掲載できないこともあります。原稿や写真は返却しませんのでご了承ください。匿名を希望する場合は、その旨を明記してください。皆さんの声をお待ちしています。受付、問い合わせ 市まちづくり推進室 ☎43・8113、メール info@city.fukutsu.lg.jp